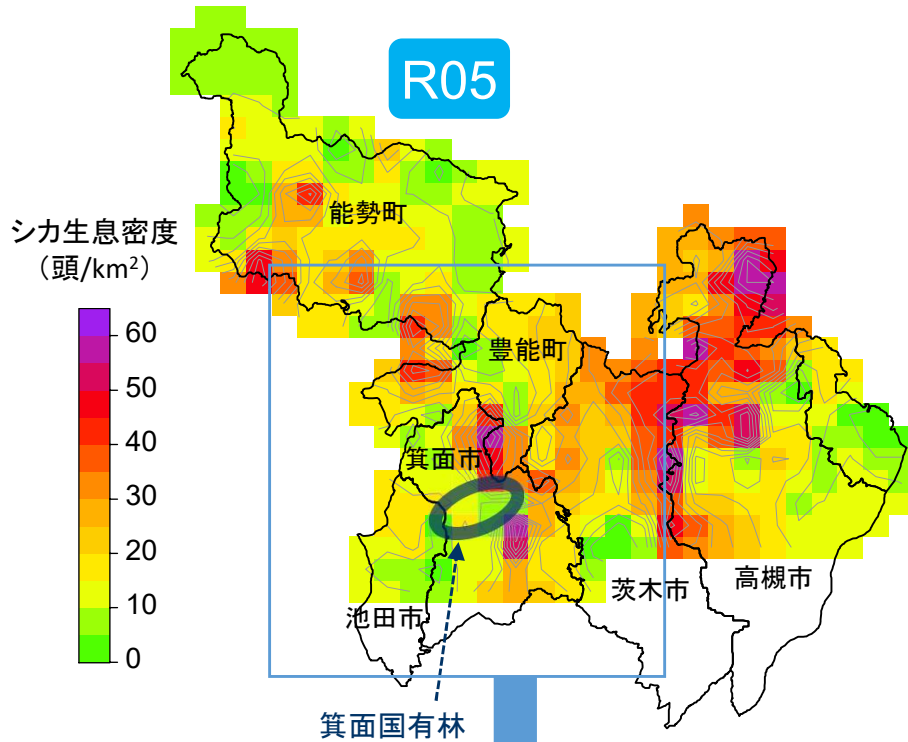
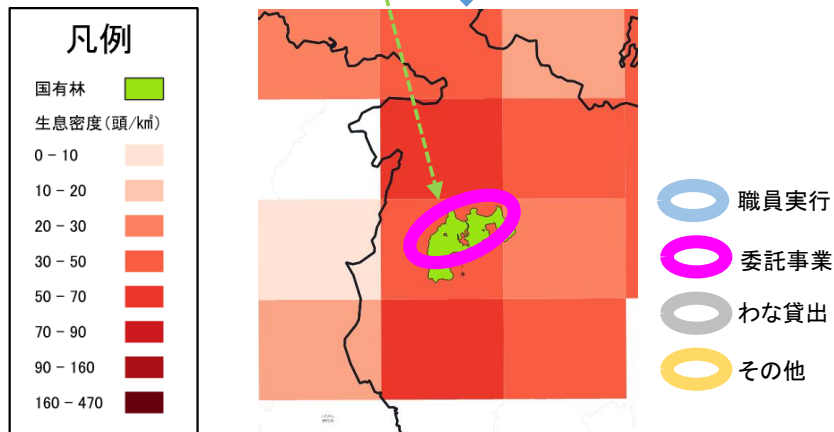


シカ密度分布図



箕面国有林



・管内の状況(推計生息数、生息密度、被害状況、捕獲状況等)

シカが定常的に生息されているとされる大阪府の北摂地域104ヶ所の調査地でシカの生息密度推定を実施。糞塊除去法でシカの生息密度を推定。IDW(逆距離加重)法による空間補間で生息密度分布を推定。推定生息数は20.4頭/km²(5,100~7,900頭)

・被害状況

箕面市では、第V期箕面市鳥獣被害防止計画(令和4年度~令和6年度)及び令和4年度箕面市鳥獣被害防止対策協議会事業計画に基づき、農林業の鳥獣被害軽減に向けた事業を実施。令和3年度における全体の被害額は5,468千円と目標額を1,959千円上回ってる状況となっている。

・取組状況

箕面国有林では、平成26年度から令和6年度までに823頭を捕獲しているものの、未だに植生の回復に至っておらず、さらなる捕獲数の増加が求められることから、引き続き、令和7年度も継続した捕獲を実施している。令和7年度の目標頭数は100頭、契約締結3/11(履行期間:令和7年12月15日まで)

・成果

箕面国有林では平成26年度から捕獲を継続し、この間、推定生息数も平成28年度には約25頭/km²から約12頭/km²まで減少し、令和5年度は約18頭/km²とやや増加しているもののほぼ半減状態を維持できており、捕獲効果が数値にも表れているところである。さらなる捕獲強化を実施していく。(大阪府全体の目標は10頭/km²以下。)

なお、第V期箕面市鳥獣被害防止計画(令和4年度から令和6年度)の捕獲数はイノシシ240頭(年平均80頭)、シカ600頭(年平均200頭)、アライグマ90頭(年平均30頭)となっている。

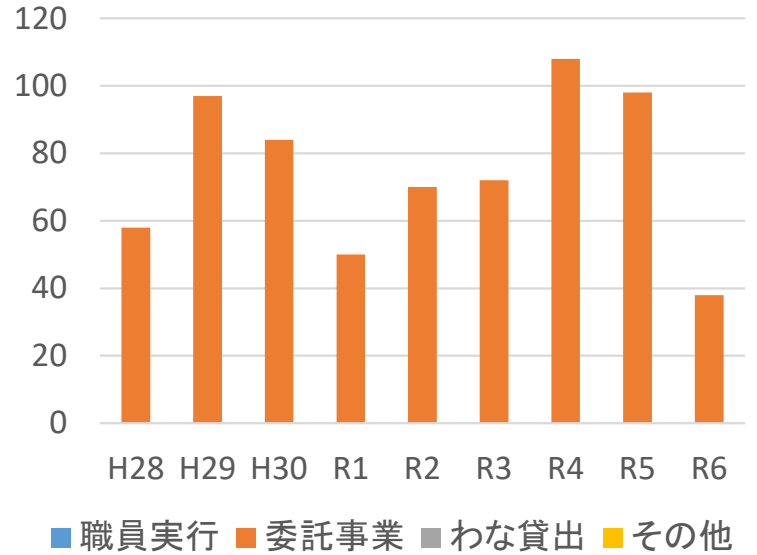
【出典】

ニホンジカ密度分布図(環境省:2022)をもとに近畿中国森林管理局作成
 (環境省HP:「本州以南におけるニホンジカの密度分布図(令和4年度当初)の作成について」)
 URL: https://www.env.go.jp/press/press_02936.html

箕面森林ふれあい推進センターでの捕獲状況

捕獲頭数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
職員実行									
委託事業	58	97	84	50	70	72	108	98	38
わな貸出									
その他									
計(イノシシ)()は外書	58 (19)	97 (27)	84 (20)	50 (8)	70 (10)	72 (5)	108 (9)	98 (7)	38 (11)



委託事業

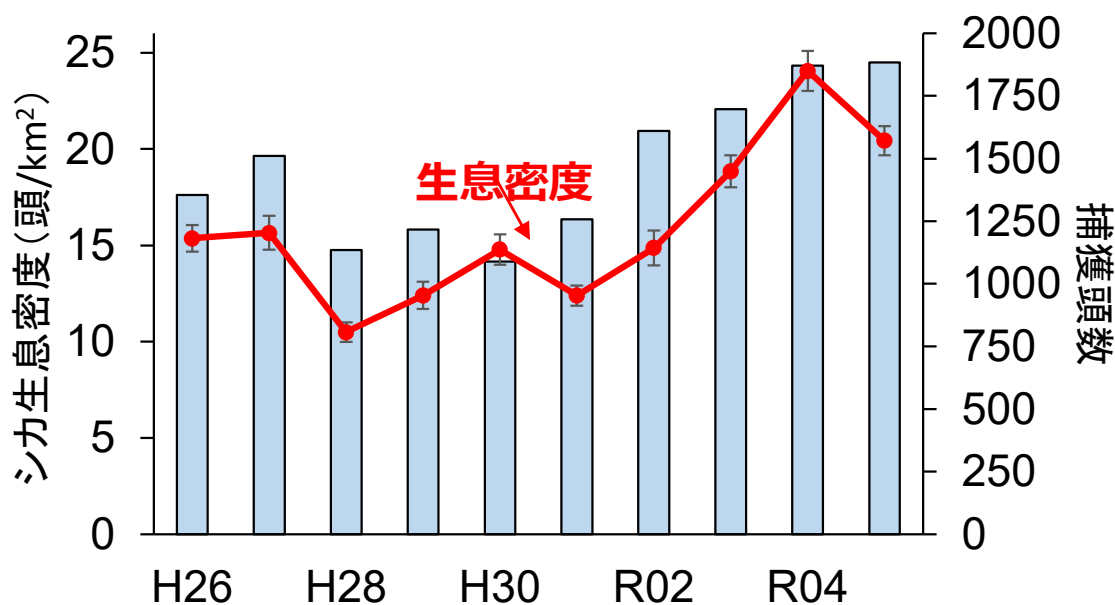
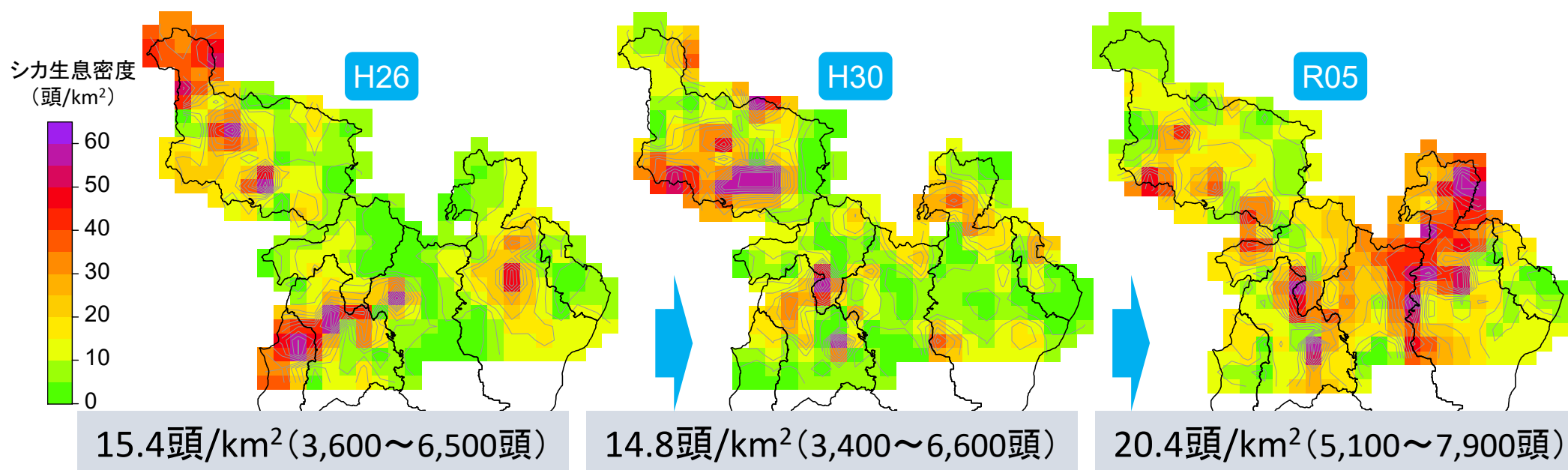
		R2	R3	R4	R5	R6
箕面	捕獲頭数	90(70)	80(72)	80(108)	100(98)	100(38)

その他

- ・捕獲のほか、ニホンジカ生息状況外モニタリング調査を継続的に実施。
- ・毎年度、猟友会、ボランティア団体など地域の関係者と情報交換会を開催。

シカ生息密度の分布と変化

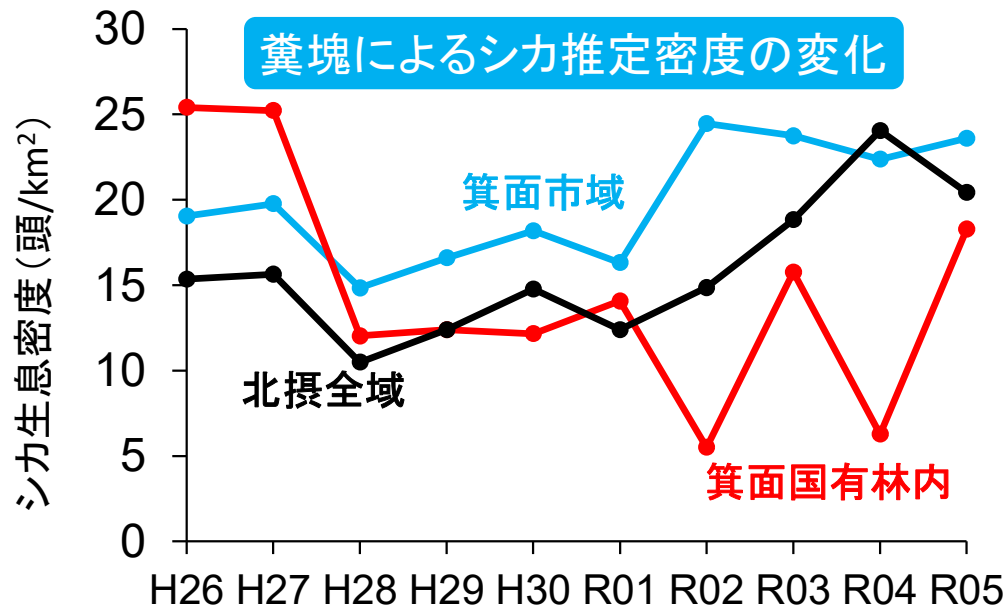
資料：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所



- 全体としては増加傾向**
 R05は1,800頭超(※)の捕獲継続によりやや減少した可能性もあるものの、今後の推移の注視が必要
(※)大阪府全域
- 茨木・高槻市では過去最大の推定生息数となっており、被害増加への警戒が必要

箕面国有林及び箕面市での変化

資料：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

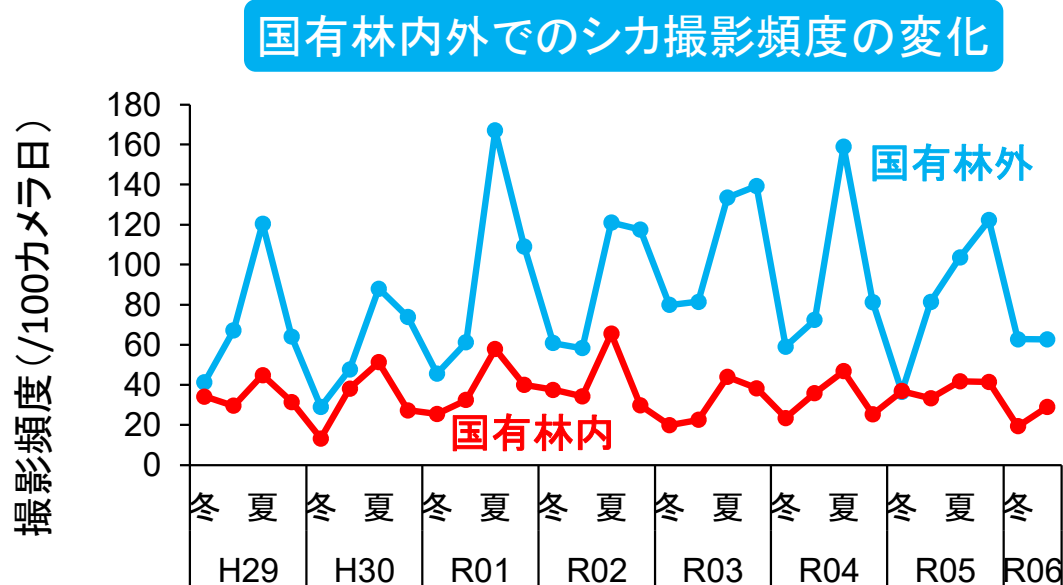


- 以前は国有林を中心に高密度で分布していたが、近年国有林内は、減少

- シカは国有林内外を問わずほぼ一定で推移

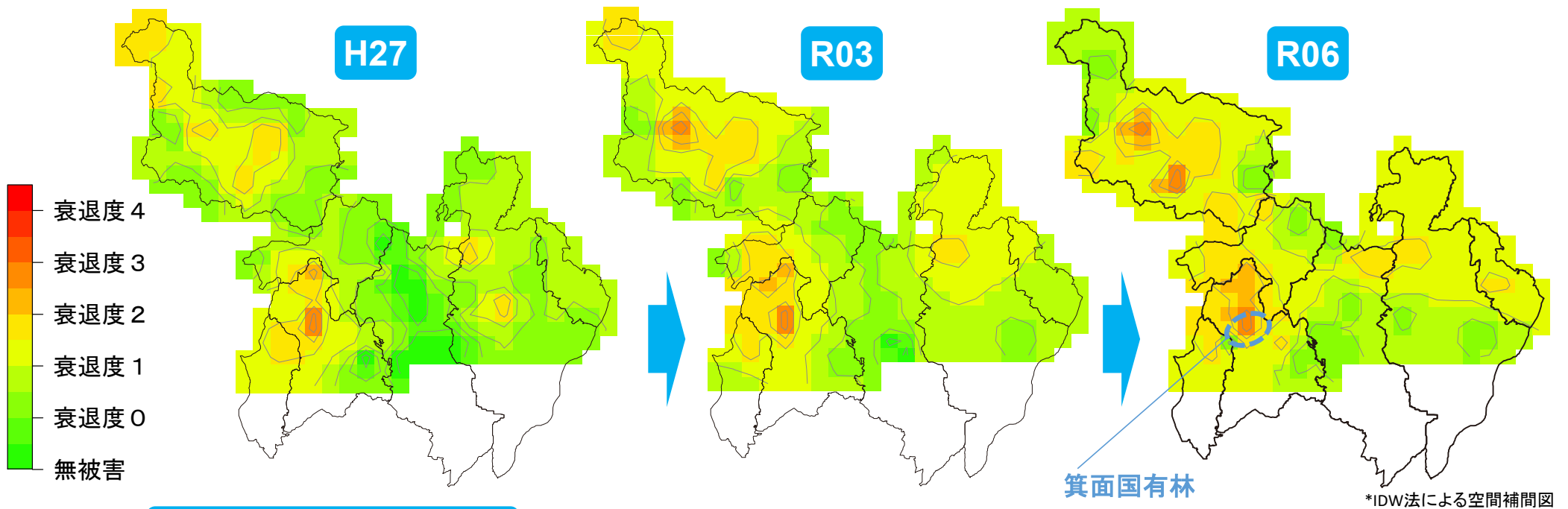
- カメラデータでも国有林内は民有林内よりもシカ密度低

- 夏～秋は活動が高まる

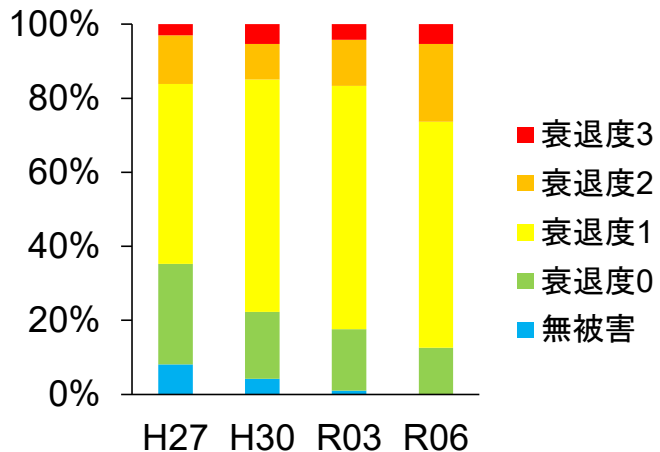


シカによる下層植生衰退状況

資料：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所



各衰退度の調査地割合



- シカ高密度地域で植生の衰退が進行
- 無被害や衰退度0が減少し、衰退度1や2の地域が増加
- シカ減少地域では植生が回復した場所もあるが、非常に限定的
 - 勝尾寺園地、ようらく台園地付近では回復傾向

※無被害：シカの食痕なし
 衰退度0：植被率92.5%以上
 衰退度1：植被率92.5%未満43.5%以上
 衰退度2：植被率43.5%未満23.5%以上
 衰退度3：植被率23.5%未満11.5%以上
 衰退度4：植被率11.5%未満